

4. 給与債権の情報取得手続の申立てに必要な書類等一覧

札幌地方裁判所民事第4部

申立ての別	民事執行法206条1項, 197条1項1号に基づく申立ての場合	民事執行法206条1項, 197条1項2号に基づく申立ての場合	
申立ての要件	<p>強制執行又は担保権の実行における配当等(※)の手続(本件申立ての日より6か月以上前に終了したものを除く。)において、債務名義に表示された金銭債権の完全な弁済を受けることができなかったこと。</p> <p>※「配当等」とは配当及び弁済金交付の手続を指します。したがって、執行手続が配当や弁済金交付の手続に至らずに終了した場合には、民執法197条1項1号に基づく申立てはできません。この場合は民執法197条1項2号に基づく申立てとなります。</p>		
	<p>民事執行法206条1項 次のいずれかの請求権について執行力のある債務名義の正本を有すること。</p> <p>① 民事執行法151条の2第1項各号に掲げる義務に係る請求権(養育費等)</p> <p>② 人の生命又は身体の侵害による損害賠償請求権</p> <p>民事執行法206条2項, 205条2項 申立ての日前3年以内に財産開示期日が開かれたこと(財産開示期日において開示義務者が不出頭の場合、陳述をしなかった場合も含みます。)</p>		
申立てに必要な書類	申立て別	<ul style="list-style-type: none"> ・配当表写し 又は 弁済金交付計算書写し ・不動産競売開始決定写し ・債権差押命令写し ・配当期日呼出状写し <p>※ 配当等の状況によって提出書類が異なりますので、窓口にお問い合わせください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・財産調査結果報告書及び疎明資料
	共通のもの	<ul style="list-style-type: none"> ・財産開示実施証明書等 	
	共通のもの	<ul style="list-style-type: none"> ・申立手数料(収入印紙) 1,000円 ・郵便切手 84円+10円 	
	共通のもの	<ul style="list-style-type: none"> ・民事執行予納金 6,000円 第三者が1名増えるごとに +2,000円 	
	共通のもの	<ul style="list-style-type: none"> ・情報取得手続申立書(表書き+当事者目録+請求債権目録) <p>※ 情報取得手続の申立ては、債務者ごと・取得しようとする情報の種類ごとに申立書を作成していただくようお願いいたします。</p>	
	共通のもの	<ul style="list-style-type: none"> ・執行力のある債務名義の正本及び写し1部 ・送達証明書(必要な場合は、確定証明書)及び写し1部 <p>債務名義に更正決定等がある場合には、更正決定正本及び同決定書の送達証明書等も必要になります。また、債務名義正本に承継執行文が付されているような場合には、債務名義正本の送達証明書に加え承継を証する書面の謄本及び承継執行文謄本の送達証明書も必要となります。</p>	
	共通のもの	<ul style="list-style-type: none"> ・資格証明書等 <p>債権者、債務者、第三者が法人の場合に必要であり、国や市町村等の場合は不要です。申立ての日前2か月以内に取得した代表者事項証明書、全部事項証明書又は現在事項証明書のいずれかですが、ご不明な点はお問い合わせください。</p>	
	共通のもの	<p>【債務名義の当事者の表示(住所・氏名又は名称)と現在の住所・氏名又は名称が異なっているとき】 【債務者の特定に資する事項において、生年月日、旧姓、旧住所を記載するとき】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民票、戸籍謄本または戸籍の附票等(申立ての日前1か月以内に取得したもの) <p>氏名・住所のつながりや生年月日、旧姓、旧住所の証明のため、必要です。</p> <p>法人の場合は、つながりの記載がある全部事項証明書や閉鎖事項証明書等が必要です。</p>	
	共通のもの	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者目録及び請求債権目録(各1部ずつ) ・債務名義等還付申請書(あらかじめ、申立時に提出してください。情報提供命令が確定した後、返還することができます。書式等はホームページに掲載しています。) 	

*これらはいずれも最低限必要な書類で、事案によっては、さらに追加の書面が必要場合があります。

※裁判所から照会する場合がありますので、お手元に申立書等の控えをとっておいてください。